JAPAN CREATE

販売店

TAKUMI DENKI

世界家電を
激安通販！ **匠電器**

ご注文専用フリーダイヤル　:0120-512-100
製品に関するお問い合わせ　:050-5509-5123
FAXでご注文･お問い合わせ　:093-967-1369

パソコン：http://www.takumiworld.jp/
モバイル：http://www.takumiworld.jp/i/
メール　：support@takumiworld.jp

ELECTRIC KICK SCOOTER MONKEY

OWNER'S MANUAL

モンキー 180 組立説明書

株式会社JAPAN CREATE

Monkey180-V1.0

本製品に関する重要な内容です。

はじめにお読みください！

電動バイク・電動キックボード ご使用にあたって

■取扱説明書をよく読み、正しくお使い下さい。
■ご利用前に本製品本体に貼ってある注意ラベルや印を必ずご確認ください。
■工場出荷時には未調整の状態で出荷されております。
■電動バイク･電動キックボード(以下:本製品)をご使用になる前に本説明書に基づき各部の組立て･調整を行って下さい。
■本製品は海外からの輸入商品のため、長期輸送によりボルトなどに緩みが生じている場合があります。必ず初回走行前に各部ボルトを締めなおしてください。
■付属の工具はサービス品の為、保障の対象外となります。また、海外製造品のためツールの精度に若干の誤差がございます。
■ケガなどしないように軍手を着用してから作業を行ってください。
■調整を行う前に必ず電源を切り、コンセントなどを抜いた状態でアクセルを回し、完全に動かないことを確認した上で作業を行ってください。
■調整はお客様ご自身の責任において行ってください。調整により生じたいかなる損害に対しても当店は責任を負いかねます。
■運転に慣れるまで時間がかかる場合がございます。走行やブレーキ、右左折、スピードなど、まずは安全な場所でよく練習してからお使いください。
■本製品は180ワットモーター付の高速電動バイクです。スピードの出し過ぎにご注意ください。
■本製品は玩具ですので公道を走らないで下さい。電動式のモーターにより走行する「電動バイク」や「電動スクーター」、「電動式キックボード」は、道路交通法並びに道路運送車両法上の原動機付自転車に該当します。原動機が内燃機関(エンジン)ではなく、電動機であっても、定格出力0.60キロワット以下が原動機付自転車とされています。(道路交通法第2条第1項第10号)
■本製品の使用に関する危険については、自己責任にてご利用ください。
■視力、バランス感覚、反応神経、骨の強度、筋肉の強度が優れている方のみご利用ください。
■車や人が多い道路･場所などで走行しないでください。
■本製品は電動式です。雨、雪、水溜り、海沿い、川沿い等、湿潤状態の場所で使用しないでください。
■本製品専用パーツ以外の装備･装着･改造などによって生じたいかなる損害に対して当店は責任を負いかねます。また、前述のような状態が確認された商品に関しては保証の対象外となります。
■本製品はオフロード用ではありません。故障の原因となりますので、水濡れの恐れのある場所や極限環境での走行はしないでください。
■予告なく、デザイン･仕様の変更を行う場合がございます。予めご了承ください。

バッテリーの充電＆メンテナンスについてのご注意

① ご使用前 ･ご使用後に充電してください。(充電方法は 9 ページ参照)
② 収納する前に必ず充電してください。また、長期間使用しない場合、30 日に一度、必ず充電してください。
③ 駆動時間が短い場合、充電器のランプが 「緑と赤」になってから、更に 6 ～ 10 時間充電してください。
※使用頻度 ･使用環境により異なります。
④ バッテリー切れになるまで使用しないでください。バッテリーが完全に無くなる前に必ず充電してください。
⑤ 安全のため、24 時間以上充電しないでください。
⑥ 充電する前に必ず電源を 「OFF」の状態にしてください。

WARNING 注意事項に従ってご使用頂けなかった場合、保証の対象外となります。

本商品は公道では走行できません。道路交通法を守り、安全運転を心掛けてください。
ご利用の際はヘルメット ･膝パッド ･肘パッドの着用をおすすめ致します。
数値は全てカタログ値です。

目 次 Index

● はじめにお読みください！ ･･･････････････ P1
● 目次
1 まずはモンキー180を知ろう！(各部名称)
◎まずはモンキー180を知ろう ･･･････････････ P3
◎ご使用前に行いましょう ･･･････････････ P4
2 組立てよう！
◎ハンドルを取り付けよう･前輪タイヤを取付よう ･･･ P5
◎ヘッドライト･ウインカー･ホーンを取り付けよう ･･･ P6
◎サドルを取り付けよう ･･･････････････ P7
◎バックミラーを取り付けよう ･･･････････････ P7
◎前輪カバーを取り付けよう ･･･････････････ P7
◎保安部品の動作確認をしよう ･･･････････････ P8
◎確認をしよう ･･･････････････ P8
3 動かしてみよう！
◎動かしてみよう･充電しよう ･･･････････････ P9
4 組立て･調整しよう！
◎サドルを組立て･調整しよう ･･･････････････ P10
◎後輪タイヤを組立て･調整しよう ･･･････････････ P11 ～ P13
5 調整しよう！
◎ブレーキを調整しよう ･･･････････････ P13
◎空気圧を調整しよう ･･･････････････ P13
◎空気圧を調整しよう ･･･････････････ P13
6 動かない時はチェックしよう！
◎故障かな?と思った時のチェック項目 ･･･････ P14
◎ボディの電源ランプは点いていますか? ･･･････ P14
◎電球は切れていませんか? ･･･････････････ P14
◎プラグや断線をチェックしよう ･･･････････････ P15
◎ランプでチェックしよう ･･･････････････ P15
7 交換しよう！
◎バッテリーを交換しよう ･･･････････････ P16
◎リレー回路を交換しよう ･･･････････････ P17
◎ヘッドライトとフロントウインカーを交換しよう ･･･ P18
◎フロントウインカーの球を交換しよう ･･･････ P19
◎テールランプユニットを交換しよう ･･･････ P20
◎前輪タイヤを交換しよう ･･･････････････ P21
8 メンテナンスしよう！
◎メンテナンスしよう ･･･････････････ P22
9 ご使用にあたっての注意
◎バッテリーについて ･･･････････････ P23
◎水濡れに関して･故障かな?と思ったら ･･･････ P24
10 保証に関して ･･･････････････ P25
11 ラインアップ ･･･････････････ P26

1 まずはモンキー180を知ろう!(各部名称)

付属品

※すでに一部組み立てられている個体については、付属品の内容が異なります。

ご使用前に行いましょう

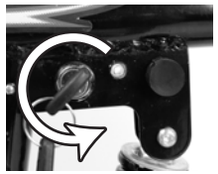
WARNING

●濡れた手で充電を行わない　●充電器をお子様に触れさせない ※充電は必ず保護者の方が行ってください
●本来の使用用途以外に使用しない　●注意事項を守って楽しく安全に遊びましょう

本製品が届いた際、充電器ランプの色が緑であっても
使用前に6〜10時間の充電をお勧めします。

Step 1 電源が切れているのを確認する

安全の為、必ず電源を切ってから作業して下さい



電源キーが刺さっている場合、キーを反時計回りに回し電源 OFF。

安全の為、キーは抜いておきましょう。

電源ランプが消えているのを確認。

Step 2 充電アダプターをつなぐ

1. 本体電源がOFFになっているか確認する。
2. 充電器をコンセントにつなぐ。(充電器の緑ランプ点灯)
3. 本体の充電プラグの蓋を開き、充電器と充電プラグを繋ぐ。
   (この時、赤ランプが点灯。検品用の充電が残っている場合、緑ランプが点灯。)
4. 6〜10時間充電し、充電器のランプが緑に変わったら充電完了。
   (※初回の充電でランプがすぐに緑に変わった場合、検品のための充電が残っている状態です。初回充電の場合、6〜10時間の充電を行ってください。)
   ※明るい場所では充電器のランプ点灯が見えずらい場合がございます。

過充電·放置放電は故障の原因となります！
バッテリーの充電量が完全に無くなると再充電できなくなります。

Step 3 駆動ベルトを確認・調整する

駆動ベルトのテンション(張り具合)と後輪軸のゆがみを確認する。
※ベルトの張り過ぎ、後輪軸のゆがみはベルト切れの原因となります。 調整は11ページ参照

2 組立てよう!

作業前のお願い

ケガをしないよう、手袋を着用して作業して下さい。
本体を箱から取り出し、平坦で安全な場所に置いて下さい。
工具やパーツはなくさないよう、準備してから作業をはじめましょう。

※商品が入っていた段ボール箱は大切に保管しておきましょう。

ハンドルを取り付けよう

1 付属パーツから中継軸を用意する。

2 中継軸の上方留め具を緩め、取り外す。

3 ハンドル軸下方の結束バンドを切断する。

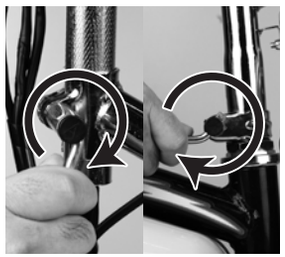
4 中継軸の開いた所からハンドル軸のコードを通す。

5 中継軸の留金を取り付け、軸を仮止めする。その際、上図のように留金の凸凹を合わせる。

6 中継軸の下方留め具を緩める。

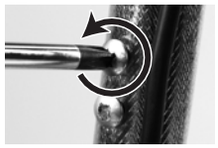
7 7図まで終えた状態の中継軸を本体に取り付ける。

8 ハンドル、中継軸、前輪タイヤの向きが一直線になるように調整する。



9 ハンドルの向きを決めたら上下2カ所の固定金具をしっかり締めて固定する。

ヘッドライト・ウインカー・ホーンを取り付けよう



10 ハンドル軸に付いているヘッドライト固定用ネジ2個を取り外す。

11 ヘッドライト、ウインカーのユニットを1図で取り外した固定ネジでしっかり固定する。

12 ヘッドライトの角度を決めたら固定ネジをスパナとドライバーでしっかり絞めて固定する。

13 ヘッドライト･ウインカーユニットのコードから出ている青と茶の電極2本をホーンに取り付ける。

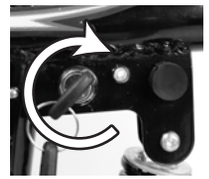
14 ボディとテールランプをとめている結束バンドを切断する。

15 テールランプ固定ネジを取り外す。

16 テールランプを固定ネジでしっかりと固定する。

ボディ横の電源キーホールにキーを挿す。

電源キーを時計回りに回し、電源 ON。



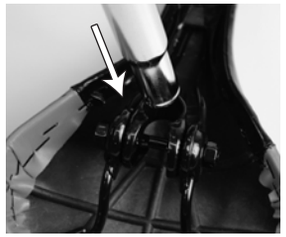
フロント
完成写真

ヘッドランプは根気よく取り付けましょう。
上は取り付け完成のもの。

リヤ
完成写真

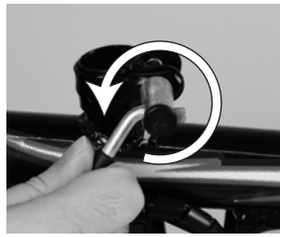
リヤウインカーは比較的簡単に取り付けできます。
上は取り付け完成のもの。

サドルを取り付けよう



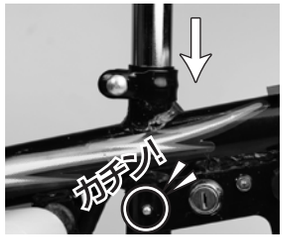
18 サドル軸をサドル裏の固定用金具へ差し込む。

19 固定用ナットを左右両側から締め、仮止めする。



20 ボディのサドル固定金具を緩める。

21 サドル軸のストッパーと台座の穴の位置を合わせながらサドル軸を押し込む。



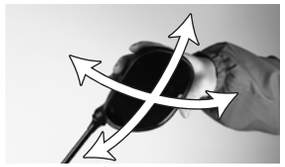
22 ストッパーが穴から出ている事を確認。穴は3つ、三段階の高さ調節が可能。

23 サドルの向きを確認したらサドル固定金具をしっかりと締め、固定する。

バックミラーを取り付けよう

24 向きを決め、バックミラーをハンドルに付いている台座にスパナでしっかり取り付ける。

25 軸を固定したら金具の根元が隠れるまでカバーを引き下ろす。



26 サドルにまたがり、乗車の姿勢でバックミラーを調整する。

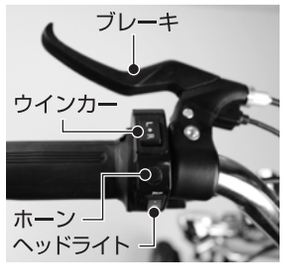
前輪カバーを取り付けよう

27 前輪カバー取り付け用ナットを取り外す。

28 前輪カバーの向きに注意(進行方向:短 後方:長)し、取り付け用ネジを穴に通す。

29 図27で取り外したナットを使い、両側からしっかりと絞め、カバーを取り付ける。

保安部品の動作確認をしよう



各スイッチ機能

30 ウインカースイッチの【L】を押す。ウインカー左が点灯。

31 ウインカースイッチの【R】を押す。ウインカー右が点灯。

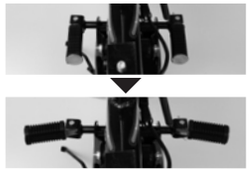
32 ヘッドライトスイッチの☼マークを押す。

33 ホーンボタンを押すと音が鳴ります。

34 ブレーキレバーを握るとテールランプ全体が点灯。

確認しよう

35 左右のステップを開く。

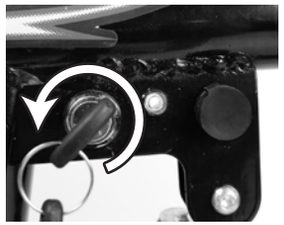


36 タイヤ、ハンドル中継軸、ハンドル、サドルを真っ直ぐに調整する。
前方、後方、上方などいろんな角度から見ましょう。
最後に電源OFFの状態で実際に乗車し、違和感が無いか確認する。

道路交通法を守り、安全運転を心掛けてください。
ご利用の際はヘルメット・膝パッド・肘パッドの着用をおすすめ致します。

3 動かしてみよう!

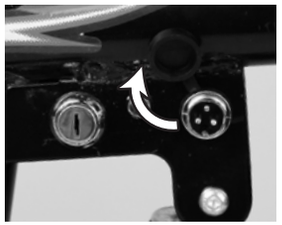
動かしてみよう・充電しよう



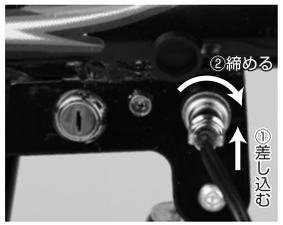
1 電源キーが刺さっている場合、キーを反時計回りに回し、電源OFF。

2 安全の為、電源キーは抜いておきます。

3 電源ランプ消灯、電源OFFを確認。



4 充電口のキャップを外す。



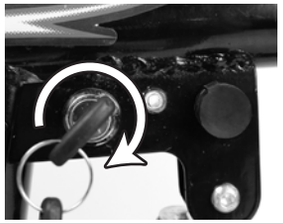
5 充電口に充電アダプターのソケットを挿し、固定金具を締める。

6 充電アダプターとコンセントを繋ぐ。充電不足時ランプは赤。
※本体と繋がっていない場合、ランプは緑。

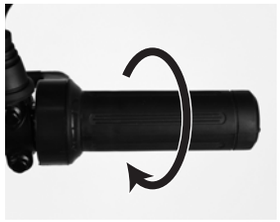
7 緑のランプは充電完了のサイン。充電アダプターを取り外す。上限6～10時間が目安。

8 1～5の逆の手順で充電アダプターを取り外し、充電口のキャップをしっかり閉める。

9 電源をONにし、駆動テストを行いましょう。



10 電源キーを時計回りに回し、電源ON。ランプ点灯を確認。



11 アクセルをゆっくり絞り、タイヤなどにガタつきがないか確認する。

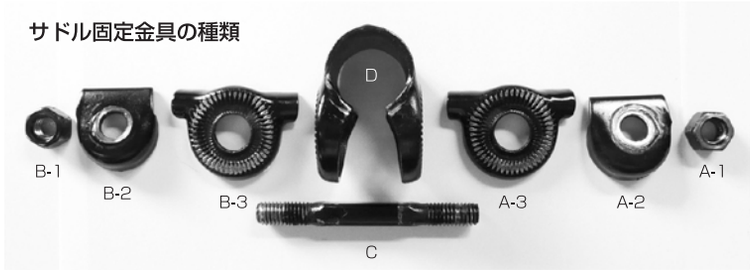
過充電・放置放電は故障の原因です！

バッテリーの充電量が完全に無くなると再充電できなくなります。

4 組立て・調整しよう!

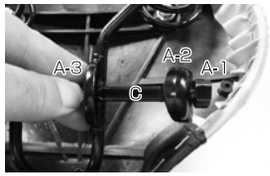
サドルを組立て・調整しよう

サドル固定金具の種類

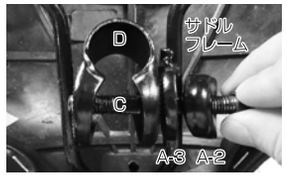


※部品の形と数を確認しましょう

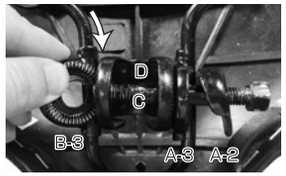
サドル固定金具の取付位置と順番



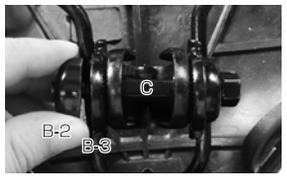
1 CにA-2を通し、A-1を仮止めしておく。仮止めしておいた部品をA-3に通す。その際、A-2とA-3の丸い部分同士が合うようにする。



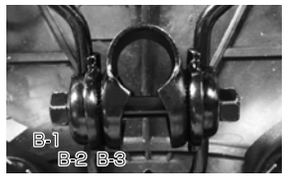
2 手順1の状態で更にDの左右の穴に通す。A-2とA-3でサドルフレームを凹み部分で挟む。



3 DとフレームのBに通す。この時、B-3をサドルフレームに沿って滑り込ませると簡単です。



4 手順3の状態でB-2の穴にCを通してB-2とB-3でサドルフレームを挟むようにする。



5 B-1で仮止めする。

6 手順5の状態でサドル軸を穴に通し、本締めする。この時サドルの角度を決めてからしっかりと絞めて固定する。

後輪タイヤを組立て・調整しよう　タイヤ交換・駆動ベルト調整

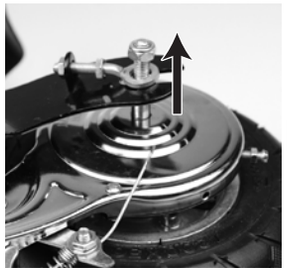
■ 後輪タイヤを外す

1 後輪タイヤカバーを上方へ跳ね上げる。

2 後輪ブレーキ固定ネジを緩め、後輪ブレーキを外す。

3 駆動ベルトテンション調整ナット(下)を時計回りに回して後輪の中心方向に移動させる。

4 後輪軸のナットを緩める。

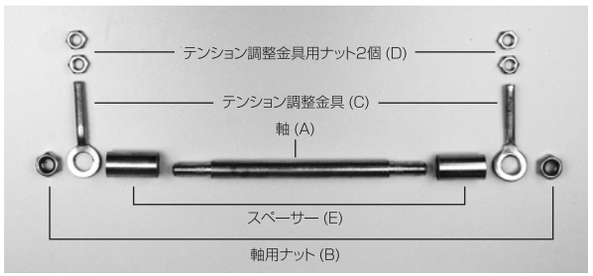


5 後輪軸を抜き取る。

6 フレーム、タイヤ、ブレーキの各パーツに分かれました。

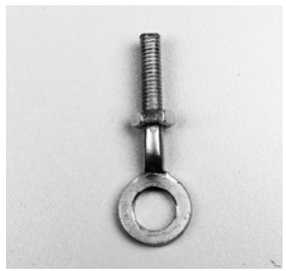
■ 後輪タイヤを取り付ける

1 駆動ベルトをモーターのギヤに巻き、フレームにたすき掛けにしておく。

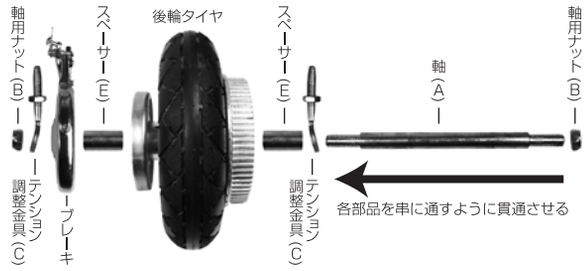


2 後輪に取り付ける金具を準備する。

後輪タイヤを組立て・調整しよう　タイヤ交換・駆動ベルト調整



3 テンション調整金具(C)にナット(D)を1個取り付けておく。

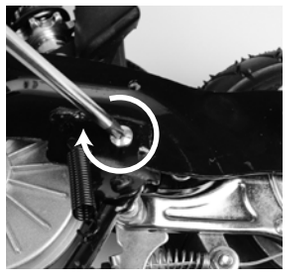


4 上図を参考に後輪タイヤを組み立てる。
軸(A)をテンション調整金具(C)→スペーサー(E)→後輪タイヤ→スペーサー(E)→ブレーキ→テンション調整金具(C)の順に通し、左右を軸用ナットで仮止めしておく。

5 手順4で組み上げると上図のようになります。

6 図5の状態で、左側:テンション調整金具(C)とブレーキの間、右側:テンション調整金具(C)とスペーサー(E)の間にフレームを挟むようにし、フレームのスリットに沿って軸を滑り込ませる。

7 左右のテンション調整金具の上ナットを装着、仮止めする。



8 ブレーキ固定用ネジをしっかりと締め、ブレーキを装着する。

9 フレームにたすき掛けしていた駆動ベルトを後輪タイヤの下方からギヤに引っかけるように巻きつける。

10 タイヤを上方へ引き上げるように回転させる。簡単に駆動ベルトがギヤに巻きつきます。

4 組立て・調整しよう!

後輪タイヤを組立て・調整しよう　　タイヤ交換・駆動ベルト調整

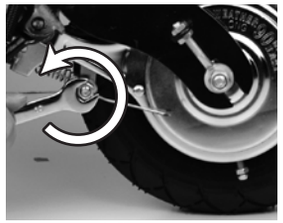
11 左右のテンション調整金具(下)のナットを反時計回りに回し、駆動ベルトの張りを調整する。

12 テンション調整金具(上)のナットを時計回りに回して固定する。

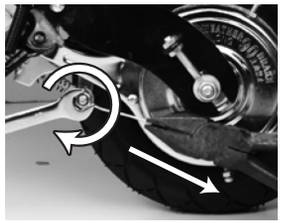
13 最後に左右の軸ナットをしっかり締める。

5 調整しよう!

ブレーキを調整しよう



1 ブレーキワイヤー固定金具のナットを緩める。



2 ブレーキワイヤーをペンチなどで引っ張り、ブレーキの効きを調整。ブレーキワイヤーを引っ張った状態でブレーキワイヤー固定金具のナットをしっかりと絞める。

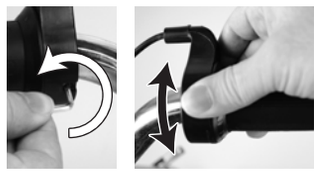
3 ブレーキレバーを握り、ブレーキの効き具合を確認。理想の効き具合になるまで1～3の作業を繰り返す。

空気圧を調整しよう　　前後輪とも作業手順は同じです

タイヤのバルブに空気入れのバルブを接続し、適正空気圧まで空気を入れる。
※空気圧は右記いずれかに合わせる。

ピーエスアイ=36P.S.I(タイヤ側面に記載)
キロパスカル=250kPa(タイヤ側面に記載)
キログラム/平方センチ=2.5kgf/㎠

アクセルの角度を調整しよう



アクセルグリップ裏側にある固定用ネジを六角レンチで緩め、角度調節する。角度決定後、緩めた固定用ネジをしっかり締める。

6 動かない時はチェックしよう!

故障かな? と思った時のチェック項目

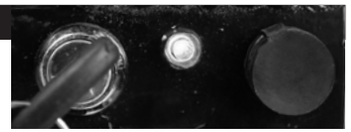
動かない!? 故障かなと思ったら

項目順にチェックしましょう。
手順に従って、チェックと交換を行って下さい。

- ☐ **①ボディの電源ランプは点いていますか?** ⇒【P14　STEP-1 参照】
- ☐ **②電球は切れていませんか?** ⇒【P14　STEP-2 参照】
- ☐ **③バッテリープラグは外れていませんか?** ⇒【P15　STEP-3 参照】
- ☐ **④リレー回路のプラグは外れていませんか?** ⇒【P15　STEP-3 参照】
- ☐ **⑤プラグの電極は外れていませんか?** ⇒【P15　STEP-3 参照】
- ☐ **⑥バッテリーに断線はありませんか?** ⇒【P15　STEP-3 参照】
- ☐ **⑦充電アダプターとバッテリーの状態を確認しましょう** ⇒【P15　STEP-4 参照】

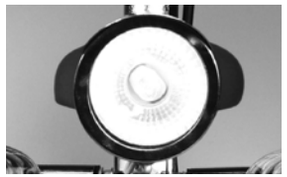
STEP-1 ボディの電源ランプは点いていますか?

■ 電源が入っているかチェックしてください。



STEP-2 電球は切れていませんか?

■ まれに走行中の振動により線が切れてしまうことがあります。



ヘッドライト
断線や球の外れはないですか?

テールランプ
断線、プラグ外れはないですか?

ホーン
断線、プラグ外れはないですか?

1 ウインカー
ドライバーでネジを取り外す。
※詳しくはP19参照

2 カバーを開け、ウインカーの球を確認する。

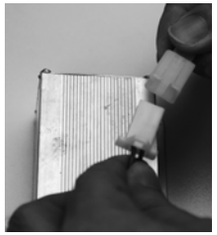
3 断線・割れ・汚れなどはありませんか?

6 動かない時はチェックしよう!

STEP-3 プラグ、断線をチェックしよう

■ プラグや断線をチェックしましょう。

バッテリーのプラグが外れていないかチェック。


リレー回路のプラグが外れていないかチェック。

プラグの電極が外れていないかチェック。

バッテリーの電極接合部分が外れていないかチェック。

WARNING

出荷時に検品は行っておりますが、輸送中の揺れや衝撃により、まれにプラグやコードが外れてしまう場合がございます。カバーを開けてこれらをチェックしてください。

電極や電気コードの作業をする際は感電の危険があり大変危険です。
必ずバッテリーのプラグを外して作業を行ってください。

STEP-4 ランプでチェックしよう

症状と考えられる原因

プラグ外れ、断線がないか、カバーを開けチェックしてください。
異常が無い場合、下記の方法でチェックすることができます。※14・16ページ参照

本体電源 ON のとき

電源ランプ点灯 → 正常
電源ランプ消灯 →「リレー回路」「バッテリー」

電源ランプ点灯でアクセル ON のとき

電池残量メーター

充電アダプター

動く → 正常
動かない →「バッテリー」「アクセル」「リレー回路」「モーター」
充電アダプターを挿した状態で動かない →「アクセル」「リレー回路」「モーター」

充電アダプターをコンセントに挿したとき

充電アダプターのランプ（緑）→ 正常
充電アダプターのランプ（赤または消灯）→ 不良

充電アダプターをコンセントに挿し、電動バイク・電動キックボード本体に繋いだとき

充電アダプターのランプ（緑 → 赤）充電完了時に充電器のランプ（緑）へ変化 → 正常
充電アダプターのランプ（緑 → 赤）すぐに充電器のランプ（緑）へ変化 → 正常
充電アダプターのランプの色が変化しない → 不良（充電時間最大 10 時間を目安に充電）
※充電アダプターのランプの変化は充電完了を前提としています。

7 交換しよう!

バッテリーを交換しよう

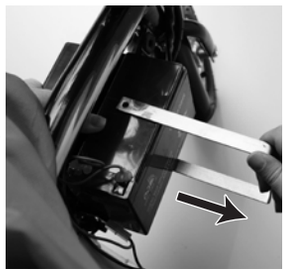
1 電源がOFF状態になっていることを確認。

2 左右のボディカバーを取り外す。引き抜くように手前に引けば簡単に取り外せます。

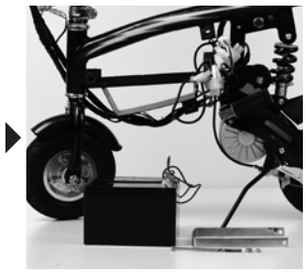
3 バッテリープラグを外す。

4 バッテリーからリレー回路を取り外す。

5 バッテリー固定金具の締付けネジを取り外す。


6 バッテリー固定金具を引き抜き、取り外す。

7 バッテリーを横に寝かせながらフレームの隙間から引き抜き取り外す。バッテリーは重いのでご注意ください。


8 新しいバッテリーを準備する。

9 手順2〜7を逆の手順で組み立てる。電源をONにして通電確認する。十分テストしてからご乗車ください。

リレー回路を交換しよう

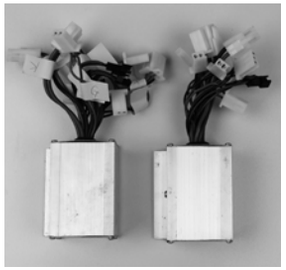
1 電源がOFF状態になっていることを確認。

2 左右のボディカバーを取り外す。引き抜くように手前に引けば簡単に取り外せます。

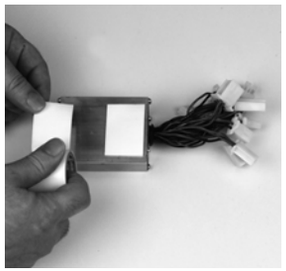
3 バッテリープラグを外す。

4 バッテリーからリレー回路を取り外す。

5 リレー回路のプラグを外す前に対になるコードが分かるよう、タグ等目印を付けておく。



6 タグを付けた古いリレー回路を参考に新しいリレー回路を結線する。



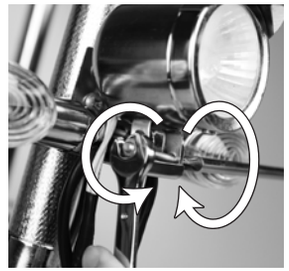
7 両面テープをリレー回路の底面にはる。リレー回路を両面テープでバッテリーに貼り付け固定する。

8 手順2～7を逆の手順で組み立てる。

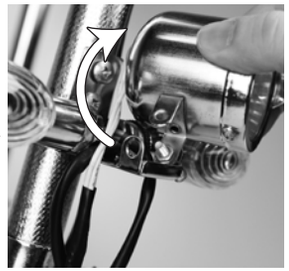
9 電源をONにして通電確認する。十分テストしてからご乗車ください。

ヘッドライトとフロントウインカーを交換しよう

1 電源がOFF状態になっていることを確認。



2 外側のヘッドライト固定用ナットを緩める。



3 ヘッドライトを傾けながら内側のヘッドライト固定用ナットを緩め、ヘッドライトを取り外す。

4 フロントウインカー、ヘッドライト台座の固定用ネジ2個を緩め、取り外す。

5 コードを束ねる為のスパイラルチューブを取り外す。

6 ヘッドライト、フロントウインカーの絶縁テープを剥がす。

7 古いヘッドライトの結線を外し、新しいヘッドライトを結線する。

8 フロントウインカーの端子を抜き取り、古いフロントウインカーを取り外す。コードにタグなど目印を付けておきます。

9 タグをヒントに左右間違えないよう結線する。組立ては、取り外しの手順の逆の手順で行ってください。

フロントウインカーの球を交換しよう

1 電源がOFF状態になっていることを確認。

2 ウインカーレンズのネジを緩め、レンズを取り外す。

3 ケガをしないよう、手袋などをして作業する。

4 球をつまみ、横へ引き抜くようにして取り外す。

5 ケガをしないよう注意して、新しい球を差し込む。

6 ネジの締めすぎに注意しながら、レンズをしっかり固定する。

ホーンを交換しよう

1 ホーン固定金具のネジを緩め、ハンドル軸からホーンを取り外す。

2 古いホーンから電極を取り外し、新しいホーンに繋ぐ。繋いだらホーン固定金具をネジでハンドル軸にしっかり固定する。

3 新しいホーンを取り付け終わったら、ホーンのボタンを数回押してホーンが鳴るか確認する。

テールランプユニットを交換しよう

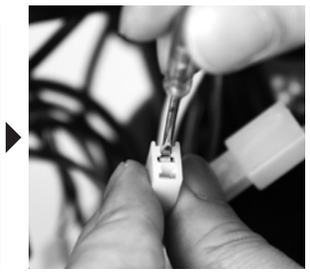
1 電源がOFF状態になっていることを確認。

2 テールランプ固定金具のネジを緩め、テールランプをユニットごと取り外す。

3 左右のボディカバーを取り外す。引き抜くように手前に引けば簡単に取り外せます。

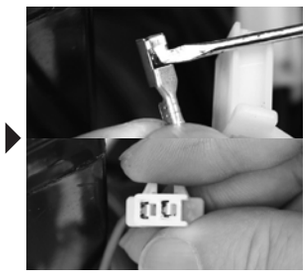
4 ボディ横のコード留めをドライバーなどで開き、コードを引き出す。引き出したらスパイラルチューブをコードの束から取り外す。

5 テールランプのプラグ(2個)を外す。結線の際のヒントとなるよう、プラグと線に目印を付けておく。



6 赤·赤+赤·黄の線のプラグから電極を引き抜く。小さなドライバーなどで電極とプラグの隙間から電極の返しを押しながら引き抜く。

7 電極の根元をラジオペンチなどで開き、古いテールランプのコードを取り除く。取り除いたら新しいテールランプのコードを元のように電極に取り付ける。



8 手順6で凹んだ電極の返しをマイナスドライバーなどでお越し、プラグに挿し直す。

9 組立ては手順1～5を逆に行ってください。組立て後、ボタン操作し、動作テストする。

7 交換しよう!

前輪タイヤを交換しよう

1 前輪軸のナットを緩める。

2 前輪軸を引き抜く。

3 前輪タイヤ取り付けの部品を準備する。各部品の取り付け場所は上図のとおり。

4 フロントフォークの左側から軸→穴→スペーサーの順に軸を通す。

5 新しいタイヤを用意。ホイール中央、穴の中のスペーサーがセンターからずれている場合、ドライバーなどで位置合わせする。

6 図4の手順で軸を通し、図5の手順で用意したタイヤを通す。

7 右側のタイヤとフロントフォークの間にスペーサーを挟むようにセットする。

8 左から、軸→フロントフォーク穴→スペーサー→タイヤ→スペーサー→フロントフォーク穴→ナットの順に通す。

9 前輪軸のナットをしっかり締め、ガタつきなど無いかタイヤを回して確認する。

8 メンテナンスしよう!

メンテナンスしよう

定期的に点検して必要なら油を注して下さい。また、キシミやスムーズに動かない場合も適量の油を注して下さい。

ブレーキユニット、ハンドルグリップ、ステップには危険ですので絶対に油を差さないで下さい。

その他点検のポイント

- ベルトの張り(テンション) ····· 12ページ参照
- ブレーキの効き ····· 安全な場所でテスト走行して確かめる13ページ参照
- サビ ····· 市販の錆取で錆を落とし、油など保護剤を塗布する
- ブレーキの減り ····· ブレーキユニット内、ブレーキパッドの減りをチェック
- ガタつき ····· サドル、サスペンション、ハンドルなどガタつきをチェック

バッテリーについて

使用前の充電について

本製品が届いた際、メーターの表示が充電済みであっても検品のための充電が残っている状態です。
使用前に**6～10時間の充電**をお勧めします。

使用後の充電について

●濡れた手で充電を行わない　●専用バッテリー以外使用しない
●充電器をお子様に触れさせない ※充電は必ず保護者の方が行ってください

ボディ左横の電源キーを抜き取り、電源OFFの状態で作業する。

● 必ずバッテリーの充電量がゼロになる前に充電する。
充電池の特質上、充電残量が完全に無くなると充電出来なくなります。

● 使用後および収納前に充電する。
放電により充電残量が完全に無くなるのを予防するためです。

● 長期間使用しない場合、一月に一回程度充電する。
放電により充電残量が完全に無くなるのを予防するため、定期的に充電してください。

● 安全のため24時間以上の充電はしない。
過度な充電はバッテリー故障の原因だけでなく、火災などの原因となります。

● 使用しないときは本体電源をOFFにしてください。
放電の予防、機械的なトラブル防止のため、電源をOFF状態にしてください。

過充電・放置放電は故障の原因です
バッテリーの充電量が完全に無くなると再充電できなくなります。
充電のサイクルは必ず守りましょう。

バッテリーが弱ってきたと感じたら･･･
市販でバッテリー再生機がございます。
再生機を使えば買い替えよりお得になる場合がございます。

水濡れに関して

防水仕様ではございません。

故障の原因となります。水溜りでの走行は避けて下さい。
水濡れが原因の故障につきましては、保証期間であっても保証の対象外となります。

● 雨上がり、積雪、雪解けなど水溜りにご注意ください。
● 洗車は絞った雑巾などで拭いてください。
● もし濡れてしまったら、乾いた布でふき取り、乾燥させてください。
● 濡れた手で作業をしないでください。感電の危険があります。

故障かな？ と思ったら

●充電しても長く使えない･･･････バッテリーの寿命です。交換時期です。
●スロットルを開けても動かない･･カバーを開け、配線外れがないか確認。問題無い場合、充電が不十分か、バッテリーの寿命です。
●走行中、突然止まる･･･････････電源をOFFにし、モーターが冷えるのを待つ。
●急に動かなくなった･･･････････スイッチを一度OFF。数秒待ってONにする。

お問い合わせの前に

●充電アダプターを接続した状態と外した状態、それぞれの電源ランプの点灯状態を確認してください。
●カバーを開け、プラグ外れや断線が無いか確認して下さい。

■チェック項目・手順は**14、15ページ**をご覧ください。

問題が解決しない場合、または商品に関して
お問い合わせは、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証の対応・内容に関してのお問い合わせは、まずご購入先の販売店へご連絡ください。

商品到着後、すぐにテスト走行をお願いします!

お客様がご購入になった販売店を通じて、株式会社 JAPAN CREATE でアフターサービスを行います。弊社規定により、以下のように本製品に対して保証を致します。

お問い合わせの際、お客様のお名前・お電話番号・ご購入のシリーズ名・お問い合わせ部分の写真が必要となります。予めご確認・ご準備をお願いいたします。

初期不良の場合、返品・交換OK

商品**お届け後、7日以内の初期不良**の商品に関しては無償修理・交換させて頂きます。※付属の工具はサービス品の為、保障の対象外となります。

保証期間内は大切に保管！

商品が入っていた段ボールは大切に保管してください。

段ボールを保管されていない場合、返品・交換の際の段ボール代として料金が発生いたします。

保証の条件

※取扱説明書をよく読み、注意事項を守ってご使用ください。
※商品が入っていた**段ボールと付属品が全て**揃っていること。
※保証期間であってもご使用状況によっては有償対応となる場合がございます。
※ご利用状況によりベルトやタイヤ等の消耗部品の劣化には差が生じます。
　消耗部品は保証期間内であっても有償となる場合がございます。
※お客様で改造・仕様変更などされた商品は保証の対象外となります。
　予めご了承ください。

◆ お客様都合による返品・交換に関して

お客様都合による返品・交換の際の送料・手数料などはお客様ご負担とさせていただきます。
※お客様都合による商品の返品・交換は原則お受けしておりません。

下記のような場合、お客様都合の返品となり別途料金が発生します。
●イメージ・乗り心地が想像と違ったなど、雰囲気による理由の返品
●小傷による返品
●サイト上の画像と実物の色・風合いなどの違いによる返品
●出荷完了後のキャンセル
※商品は生産ロットにより、予告なく仕様を変更する場合がございます。

電動キックボード・電動バイクのラインアップ！

A ゼウス
超ハイパワー/時速：40km
モーター：800w
バッテリー：12V 12AH/20HR ×3

B デビル3
ハイパワー/時速：35km
モーター：500w
バッテリー：15V 7AH/20HR ×4

C モンキー180
上級者用/時速：16km
モーター：180w
バッテリー：12V 7AH/20HR ×2

D モンキーTUBE
上級者用/時速：16km
モーター：180w
バッテリー：12V 7AH/20HR ×2

E モンキー120
入門用/時速：15km
モーター：120w
バッテリー：12V 4.5AH/20HR ×2

F チョッパーLED
入門用/時速：15km
モーター：120w
バッテリー：12V 4.5AH/20HR ×2

G チョッパー
入門用/時速：15km
モーター：120w
バッテリー：12V 4.5AH/20HR ×2

**バッテリー、タイヤ
モーター など**

部品販売は
JAPANCREATE が
承ります

お問い合わせ
050-5526-9867
https://cyber.japancreate.jp